

機関誌「三愛だより」から見る三木自然愛好研究会の年間活動

小倉 滋・室谷敬一・北村 健・横山法次
(NPO 法人三木自然愛好研究会)

「三木自然愛好研究会」は、1997年(平成9年)に会員35名でスタートしました。三木市も自動車道・ゴルフ場・住宅地・工業団地などの開発の波が押し寄せ、豊かな自然環境が失われていくことに危機感をもったことが会発足の発端でした。絶滅危惧する生物を保護し啓蒙していくことは当然のことですが、そのためにはまず私たちが自然に親しみよく知ることが必要であり、自然と共に生きる実践活動を行うことを心掛けてきました。

2010年(平成22年)9月にNPO法人として再出発をし、現在は会員数が113名になりました。活動はそれまでの内容を引き継いでいますが、組織体制と活動内容を明確にして地域により信頼される団体となるよう努力しています。具体的な活動内容については、毎月1回、第1木曜日に連絡会を持って決めていきます。会員の高齢化や連絡員・協力スタッフの不足など課題も生じています。

私たちの活動は自然環境の保全活動だけでなく、体験学習・環境教育の支援活動、情報提供・ネットワーク形成活動、調査研究活動など年間を通して多岐にわたっています。

活動拠点は「増田ふるさと公園」です。増田地区の圃場整備に伴い、市に保全するように働きかけた結果、2001年(平成13年)に約0.7haの「増田ふるさと公園」ができました。市と地区と当会で三者協定を結び、公園の保全・維持管理を行っています。

設立当初より会員間の情報の提供・交換に機関誌「三愛だより」を発行してきました。この一年間の活動を「三愛だより」で振り返りました。

2013(H25)年 主な事業活動内容

- 1. 自然体験および環境教育プログラム提供事業
 - ふるさと公園観察と春を味わう会(4/14)
 - 水にすむ生物から環境を学ぼう(6/22、教海寺)
 - 親子川がき教室(8/3、吞吐ダム下流)
 - 秋を満喫・キノコの学習(雨天・中止)
 - 増田ふるさと公園秋まつり(11/4)
 - ふるさと公園観察会(毎月第一日曜日)
 - Satoyama 探訪会(随時、5回)
 - 緑が丘東小、豊地小の環境体験教育支援
- 2. 生物多様性・自然環境保全事業
 - ギフチョウ保全活動(ヒメカンアオイの保全活動)
 - ササユリ保全活動
 - シジミオモダカ保全活動
 - ふるさと公園の保全と管理
 - ホンシメジ植菌地の観察と管理
- 3. 自然に関する情報提供事業
 - 機関紙「三愛だより」発行(毎月)
 - カレンダー「ふるさと野のこよみ」制作
 - 会報誌「おもだか」発行(年1回、第16号)
 - みきボランティアフェスタ(11/17)・細川町民文化祭(11/9・10)に参加
- 4. 自然に関する調査研究・研修
 - 水生生物による水質調査(春と夏、美囊川と志染川)
 - 三木市内の植物目録制作のための植物採集と分布調査
 - 会員研修(春と秋の年2回)

